入場無料

事前申込不要

記念式典後、
第26回 神戸市
北区農村歌舞伎
上演会開催

国指定重要有形民俗文化財「下谷上の舞台」

茅葺き屋根葺き替え
修理完成記念式典

1840年（天保11年）建築とされる「下谷上農村歌舞伎舞台」の茅葺き屋根が20年ぶりに新しく生まれ変わりました。
修理完成を様々な方とともに祝うため、3月29日に記念式典を開催いたします。

日　時　2026年3月29日（日）12:10～13:00
※少雨決行

プログラム　兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校和太鼓部記念演奏
関係者記念挨拶　※詳細はこちら

場　所　下谷上農村歌舞伎舞台
（北区山田町下谷上字宮ノ前１）

葺き替え前

葺き替え後

お問い合わせ先
電話　0570-083-330 または 078-333-3330
神戸市お問い合わせセンター（年中無休8:00～21:00）

メールフォーム
はこちら

主催　神戸市
共催　下谷上自治会農村歌舞伎舞台保存管理委員会
協力　兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校

２０年ぶりの茅の葺き替えを終え こけら落とし公演

第26回 神戸市北区農村歌舞伎上演会

申込不要
小雨決行
観覧無料

日時：2026年3月29日（日）13：00～

場所：下谷上農村歌舞伎舞台

14：15～
舞台機構解説・実演
～下谷上自治会農村歌舞伎
舞台保存管理委員会～

主催：神戸市北区農村歌舞伎を育てる会
後援：神戸市（文化スポーツ局・北区役所・教育委員会）、神戸電鉄株式会社、株式会社みなと銀行

Check! 上演会の詳細はWEBサイトをチェック！

茅葺き屋根葺き替え修理完成記念式典の詳細は反対面へ→

上演会プログラム

13：00　開演挨拶
13：05　六甲丹生かぶき演目紹介
13：15　六甲丹生かぶきによる
「子宝童謡夢物語」
「寿 曽我対面」

回転する反り橋

「子宝童謡夢物語」

14：15　下谷上自治会農村歌舞伎舞台保存管理委員会による
舞台機構解説・実演
14：45　神戸すずらん歌舞伎演目紹介
14：55　神戸すずらん歌舞伎による
「一谷嫩軍記　熊谷陣屋」
16：05　終演挨拶

「一谷嫩軍記
熊谷陣屋」

六甲丹生（ろっこう）かぶき（にぶ）

子ども歌舞伎の卒業生が中心になって作った団体で、中には芸歴２０年の強者もいます。卒業生でないメンバーもおり、歌舞伎が大好き、やってみたい人なら誰でも参加できるグループです。自分たちが楽しむだけでなく、子どもたちにも歌舞伎の楽しさを伝えたい。そして、いつか自分たちの仲間になってくれることを期待しつつ、５年前から親子教室を開催しています。

「寿曽我対面（ことぶきそがのたいめん）」

鎌倉時代（１２～１４世紀）の曽我兄弟（そがきょうだい）による敵討ちに取材した作品で、通称『曽我の対面（そがのたいめん）』、または『対面（たいめん）』とよばれています。舞台上には歌舞伎の代表的な役柄が勢ぞろいして、絵画的な様式美にあふれています。

「子宝童謡夢物語（こはたからわらべうたゆめのかけはし）」

六甲丹生かぶきの初めの師匠である、三代目市川箱登羅（いちかわ はことら）によって、子どものために作られたお芝居です。「白浪五人男」を模して、おとぎ話に出て来る５人のヒーローたちが、北区の六條八幡神社へ詣でる道中に名乗りをします。六甲丹生かぶきにとっては基本になる作品であり、今回は桃太郎、金太郎、牛若丸の３名が出演します。

神戸すずらん歌舞伎

平成１１年から行われている農村歌舞伎体験教室修了生を中心に結成。北区内に現存する農村歌舞伎舞台での上演会のほか、寺社での公演や小中学校での指導等を実施。結成から約１０年間、故・三代目市川箱登羅丈に、現在は東京のＮＰＯ法人伝統文化みらい塾主宰の立花志十郎先生に指導を受けています。年に数回歌舞伎の楽しさが体験できる体験教室を開いています。

「一谷嫩軍記　熊谷陣屋（いちのたにふたばぐんき　くまがいじんや）」

源氏方の熊谷直実の陣屋では初陣の息子・小次郎の様子を聞こうと妻の相模が待ちわびています。そこへ平家の若武者・敦盛を討ち取った直実が沈痛な面持ちで戻ります。話が敦盛討伐に及ぶと潜んでいた敦盛の母・藤の方が飛び出してきます。藤の方は敵ながら直実夫婦にとっては恩人であり、直実は敦盛の立派な最期を語るのでした。そんな中主君である源義経が敦盛の首を検分すべく現れます。直実が首桶を開けると、そこには小次郎の首。直実は義経が桜の木に立てた制札から「小次郎を敦盛の身代わりにせよ」との真意を読み取っていたのでした。この一部始終を聞いた梶原景高は義経の謀反だと頼朝に注進すべく駆け出しますが、弥陀六が現れ景高を倒します。弥陀六はかつて平家の武将であり、自らの行いによって平家が滅びようとしている事を嘆きますが、直実は生かしておいた敦盛を弥陀六にたくします。そして自らは武士の世に無常を悟り１人出家していくのでした。

下谷上農村歌舞伎舞台（国指定重要有形民俗文化財）

建立：1840年（天保11年）

神戸市北区山田町にある農村歌舞伎を上演可能な状態で現存している舞台の１つ。回り舞台や花道の一部が180度回転し、反り橋が出現する特殊機構などを備えていることが舞台の特徴です（いずれも江戸時代の人が考えた仕組みです）。2025年には20年ぶりに茅葺屋根の葺き替え修理が行われました。

農村歌舞伎上演会とは

神戸市北区には貴重な文化財である農村歌舞伎舞台が複数現存し、農村歌舞伎自体も地域の伝統文化として受け継がれています。この文化を継承するため2000年から毎年上演会を開催しており最近では下谷上、上谷上、あいな里山公園にある舞台をローテーションしています。

住所：下谷上農村歌舞伎舞台（神戸市北区山田町下谷上字宮ノ前1）
アクセス：神戸電鉄「箕谷駅」徒歩約15分
　　神戸市バス64系統「箕谷」徒歩約5分
※駐車場はありません。公共交通機関を利用してお越し下さい

お問い合わせ先
電話　0570-083-330　または　078-333-3330
神戸市お問い合わせセンター（年中無休 8:00～21:00）

メールフォームはこちら

最新情報やイベントの様子はInstagramをチェック！
@kobe_nousonkabuki

@KOBE_NOUSONKABUKI